

教育目標 心と頭と体をつかいのびす子供の育成く笑顔・元気・命輝くのびっ子へ

登小だより



長月号



登立小HP
文責 校長 田崎正明

二学期がスタートしました

残暑厳しい初秋、二学期がスタートしました。そんな中でも、のびっ子は元気いっぱいです。一学期に身に付けた生活様式により規則正しく学校生活を送れています。「履物を揃える」「礼儀正しく挨拶や返事をします」「きまりや時間を守る」など、自らを律しながら行動を選び、正す姿には、豊かな人間性の高まりを感じさせます。今学期から縦割班による掃除活動を取り入れます。五・六年生がリーダーとなって一・二年生に優しく関わる中で、よきお兄さん・お姉さんとしての言動を期待します。三・四生には、黙々と自分の役割を果たし、その姿が下級生の手本となってくれることを期待します。二学期は行事をはじめ多様な教育活動を計画しています。教室の外での学習に、日常の学びを生かしながら、「すすんで、自分で、自分たちで」ということを実感できる取組の実現を目指します。活動を通して、全員が心を耕し、目標達成とともに、友だちへのやさしさを行動にあらわせたことを誇りに思えるように。そして、その姿を私たち大人がしっかりと認め、ほめ、励ましていきたいと考えます。みんなが「のびる二学期」の実現が図られるようにと考えます。皆様方のご支援並びにご協力をお願い致します。

夏休みに心が動いたこと①
世界陸上・夏の甲子園～感動をありがとう～
◆選手の姿に感動、選手の誰もが、自分の力がまわっていることを感じていました。そして、自分を今まで支えてくれた人への感謝の気持ちをたづねました。

自分自身で一番に誇りに思っている姿が、感動を呼び起こしている。人は、一人では生きられない。おたがいに支え合っているんだぞ。

陸上女子 やり投げ 北口 橋花選手
北口選手を支えた ケンカウ・コーチ
慶応高校野球部の選手たち

夏休みに心が動いたこと②
学校のこたえ「いのち」～大雨や日でも負けない強さ～
◆うつくしい花、いのちのかがやきがありました。
◆みんなが、お世話をし、夏をこえました。
これからは、子孫(しそん)をのこすために、たねをつくる花々です。
**いのちのつながり、いのちを大切に
心のつながりを感じよう。**

自分をだいきになろう。
すると、「じしん」「やるき」ともだちとなかよくなる。

その①…自分のよさをかんと取ろう。そして、自分を大好きになろう。
先生やともだちにたくさんほめてもらおう

その②…友だちの役立つことをしよう。そして、友だちのよさに気づこう。
ともだちのかかわりかたをかえてみよう

その③…自分をしっかりふりかえろう。そして、のびることをつよくかえよう。
目標にむかってしっかりと取り組んでみよう

【のびっ子に伝えたこと】二学期始業式にて

防災会議の開催

本校は、防災への意識を高く持ち、命を守る取組の日常化をめざしています。その一環として「防災会議」を開催しました。地域・関係機関から代表の方々に参加いただき、学校安全・防災への備えについて協議しました。今回は「避難所としての学校の在り方」がテーマとなりました。子供たちの命を守るためにできることを「自助・共助・公助」の視点から話し合いながら現状の課題と改善策を見出す貴重な機会となりました。二学期も防災教育を通して子供たちの防災知識の習得と構えづくりを充実させ、命の大切さを「わかり・感じ・行動できる姿」をより一層高めていきたいと考えます。皆様、校区一丸となって子供たちを守っていきましょう。よろしくお祈りいたします。



全国学力・学習状況調査について

全国学力・学習状況調査の結果が公表されました。この調査は、四月に六年生が国語・算数の教科の調査と学習環境や生活環境のアンケート調査に取り組んだものです。

調査「国語」に関する課題

【知識・技能】
①出題の趣旨：情報と情報との関係について理解している
※原因と結果を読み取って、その関係について自分の考えを文章で表現することに課題が見られました。

②出題の趣旨：配当表に示された漢字を文中で正しく使う
※漢字定着に向けた日常的な活用、つまり使用頻度に課題があるように考えます。

③出題の趣旨：情報と情報との関係づけの仕方、語句と語句との関係の表し方を理解し使うことができる
※個々の情報の意味について理解することや、情報を目的に応じて整理するという表現の仕方を定着させる必要があります。

④出題の趣旨：日常よく使われる敬語を理解している
※敬語の理解とともに、定着に向けての使用頻度に課題があります。

【思考・判断・表現】
⑤出題の趣旨：図表等を用いて、考えが伝わるように書き方を工夫する
※条件に合わせた文章を書くことに課題があります。

⑥出題の趣旨：目的に応じ文章と図表等をつなぎ合わせ情報をまとめる
※文章のつながりを読み取ることに課題があります。

⑦出題の趣旨：文章を読み理解したことを基に考えをまとめる
※条件に合わせた文章を書くことに課題があります。

国語調査

「読むこと」「話すこと・聞くこと」の力が高いことに比べ、「書くこと」の力と言葉の使い方の理解と漢字の活用力に課題がありました。その向上が必要です。

調査「算数」に関する課題

【知識・技能】
①出題の趣旨：台形の意味や性質について理解している
※平行四辺形、長方形との違いの不明確さ、台形の性質の理解が不十分という課題があります。

②出題の趣旨：正三角形の意味や性質について理解している
※正三角形の性質の理解、角の大きさの理解が不十分という課題があります。

③出題の趣旨：加法と乗法の混合した整数の計算をしたり、分配法則を用いたりすることができる
※分配法則の理解と、その計算方法の定着に課題があります。

④出題の趣旨：百分率で表された割合について理解している
※百分率と割合の関係についての理解に課題があります。

⑤出題の趣旨：二次表から条件に合う数を読み取る
※読み取ったことの意味となる数を読み取ることの習熟を図る必要があります。

【思考・判断・表現】
⑥出題の趣旨：比例関係にある二つの数量を求め求めることができる
※立式できているが、計算の誤りがあることから計算力の向上が必要である。

⑦出題の趣旨：2位数÷1位数の筆算について、図を基に各段階の商の意味を考察することができる
※割り算の筆算の手順において、それぞれの段階の意味が理解できていないことが考えられます。

⑧出題の趣旨：高さが等しい三角形について底辺と面積の関係を基に面積の大小を判断して、その理由を述べる
※三角形の面積の求め方についての理解に課題があります。

算数調査

「知識・理解」の観点で高い結果が見られましたが、「目的に合った数の処理の仕方」や「数量と割合の関係」などについて理解と習熟を図る必要があります。

質問紙調査

【質問紙調査結果について】高い傾向の項目については、「自尊感情、自己有用感も高い」「学校生活の充実しており、友達関係も良好である」などの良さがわかりました。その一方で、「挑戦心が低く、将来の夢や見通しが持てていない」「共感する心や意識が低く、態度として表わせない」「地域への興味関心が低く、地域貢献活動も不足している」などの課題が見られました。

【子供たちは】
◎自尊感情、自己有用感も高い
◎学校生活の充実しており、友達関係も良好である
◎教師への信頼度は高い
【一方で：低かった項目】
△挑戦心・将来の夢や見通し
△共感する心と態度
△いじめに対する認知
△大人への信頼度
△地域への興味関心・地域貢献活動も不足
△課題の解決への主体性的姿勢

【子供たちの学びは】
◎教師の指導に対する評価は高く、授業に対する満足度も高い
◎読書への興味関心は高い
【一方で：低かった項目】
△主体的に学習に取り組む姿勢
△相手意識・表現活動への意欲
△既習事項の活用の意識
△学習の振り返り・課題解決活動の経験
△国語の学習の深まり

結果については、教科の調査において二教科ともに県・全国値へは僅差で至りませんでした。今回の調査結果をもとに学力向上に向けての取組を、①「授業の工夫改善」②「学習の細かい評価」③「家庭学習の充実」としました。特に③につきましては、家庭学習の習慣化と質の向上を目指していきたいと考えます。お子さんのご家庭での学習や生活についてご支援いただければ、より効果的な取組が実現できます。よろしくお祈り致します。

寄贈いただきました 「のびっ子SDGs大作戦」として取り組んでいる「ペットボトルキャップ集め活動」にご協力いただきました。「のびっ子の頑張り」に少しでもと収集箱を寄贈いただきました。収集箱は「高さ140cm・横65cm・奥行50cm」もある大きなもので、すべて手作りで、表面にメモリ付きアクリル板が張られており、集まったキャップの概数がわかる工夫がなされています。のびっ子の活動を支える、とても高機能な収集箱です。のびっ子も活動に力が入り、二学期なって日々キャップのかさが増えています。寄贈いただいた本多博様(天草市在住)には心より感謝いたします。



容積からキャップの概数がわかる工夫

くまもと家庭教育十か条 第九条 (地域全体での子育て) この子もあの子も 地域で子育て みんなの宝

のびっ子 夏の かがやき

水泳記録会

夏休みの初日、部会水泳記録会が本校プールで開催されました。大矢野町の全ての小学校から6年生が集い、自己記録の更新を目標に力泳しました。のびっ子たちも元気いっぱい競技に参加し、そして、友だちの応援に頑張りました。



代表として選手宣誓する
6年 柴田莉子さん

プール開放

夏休みは、保護者の方々の監視の下、プールで楽しく過ごすのびっ子たちでした。夏は子供たちにとって心が満ち、何をすることも楽しさを感じる時間となっていたように感じました。安心安全な環境を提供して下さった本校PTAの皆様方に心から感謝いたします。



登立天満宮 夏祭り

7月24日は天満宮(登立菅原神社)の夏祭りでした。境内は多くの方々が参拝にいらっやっていました。気持ちが高揚し、わくわくしました。祭りには大きな力があります。神事では、木彫りのうそ鳥を交換し合うことで一年の福を祈念するという「うそ替え」が行われ、誰もが平和と幸福を願っていらっやいました。のびっ子たちの笑顔も輝いていました。地域のよさ(伝統と文化、人のつながり)を感じた夏の夕暮れとなりました。



子供サミット

上天草市子どもサミット(市教育委員会主催)が開催されました。このイベントは市内すべての小中学校の児童会・生徒会の代表が集い、テーマをもとに情報交換を行うものです。今年のテーマは「ひとりひとりが輝く、いきいきとした児童会生徒会づくり」でした。のびっ子会から6年生2人が参加しました。「のびっこSDGs大作戦」の取組をまとめた資料をもとに堂々と発表する姿はとても立派でした。中学生の司会のもとで、「日常活動をもっといいものに」「上天草市全体で、共通して取り組めるものは」と議論も進みました。他校の子供たちや先輩たちとの交流もあり、同じふるさとに生まれ育った者としての仲間意識を感じていたようでした。この体験の成果を2学期の学びと生活に生かしてほしいと願います。



PTA愛校作業

8月20日、PTA主催の愛校作業が実施されました。早朝より多数参加いただき、ありがとうございました。PTA本部をはじめ地区委員会の皆様方には計画から実施まで、ご努力いただき感謝の念でいっぱいです。整った環境の下、2学期の教育活動に全力で取り組んでまいります。



ようこそ先輩

大矢野中学校の生徒さん3人が職場経験活動を行いました。生徒さんたちは、本校の卒業生で、のびっ子の先輩にあたります。教師を目指していらっやるそうです。礼儀正しく、笑顔を忘れない姿は立派でした。のびっ子豊かな体験となって、夢の実現に向けて、一步となることを願っています。



学び

6年生の学びが広がっています。キャリア教育に係る学習を進めるなかで、職業に関する講話をいただいています。仕事内容だけでなく、就かれた職のやり甲斐、目指した理由、そして、夢。多くの視点から職業についてお話をいただきました。子供たちは、目を輝かせながら講師の先生方を見つめていました。



大学生(横浜国立大学) 奥田俊平さん
保育士(慈愛保育園) 塩田勇太さん
パティシエ(モフモフ) 田中 舞さん
警察官(上天草警察署) 野口 由依さん・佐藤 悠希さん

教科書のない授業を通して、学びの成果が子供たち一人一人に積みあがっているようです。未来を創るのびっ子の姿をしっかりと支援していきたいと思えます。

プレゼント

校長室に生け花のプレゼントが届きました。これは一年生が花壇の花をフラワーアレンジメントにしてくれたものです。素晴らしい出来栄に感動、そして、子供たちの心遣いに感謝の念を深めた時間でした。ひと夏を越えて、心も体も大きくなったと感じるこの頃です



のびっ子に伝えたこと

わたしの「よわさ」と「つよさ」
だれにでもあるもの わたしだけじゃない

あつた

気持ち悪いのはいやだ
気持ち良いのがいい!

きらいなものはいやだ
好きなものもいい!

そんな話くない
とくしたい!

命は大切
あぶない
たすけなければ

あつた

人は誰でも 快を求め、苦を避ける「ことや好き嫌い」。また 損したくない、得したい」といった相反する感覚・感情・考えをもっています。同時に、生命尊重の思いに代表される気高さや崇高さの面もあります。大切なのは、又は誰でもこれらの多様な側面があることを自覚し、自分を受け止めることだと子供たちに伝えました。

だれだって「正しく生きよう・明るく生活しよう」と思っている

いつでも、どこでも、だれにでも「美しく正しい心」でせんとしたいと思っている

でも「よわさ」と「つよさ」の二つをもっているから

その「おもい」や「ねがい」どおりにいかない

**「しなればならないのに できない」
「してはいけないのに してしまう」
つよさとは反対のよわさがでてしまう わたしがいる**

大切にしたい心

「心のつなひき」でよわさに勝ってたいせつにしたい心を手に入れること

大切にしたい心が入ったよ!

大切にしたい心
心のつなひき

人は誰でも「正しく生きたい」「美しい心を大切にしたい」と願うものです。その時は必ず葛藤が起こります。その葛藤が心のつなひきです。弱さや醜さに打ち勝って、心のつなひきに勝利してほしいと思います。長い2学期です。豊かな心をつくることを目標の一つにして生活しようとして子供たちに伝えました。